

# 2号機シールドプラグコア抜きに向けた検討状況について

2021年6月2日

**TEPCO**

---

東京電力ホールディングス株式会社

# 1. 2号機シールドプラグコア抜きの見査状況

- 事故調査の観点でシールドプラグのコアを抜き、付着している放射性物質の組成及び総量を調査する計画である。現在、コア抜き作業の成り立ちを見査している。

## 【見査条件】

- ① コアサイズ：50φ～
- ② 水の使用可否：否
- ③ 深さ：約1200mm（シールドプラグ2段目迄）
- ④ 使用重機：BROKK400D



使用する遠隔操作重機（BROKK400D）

## 【技術的課題】

- ① 通常の湿式でのコア抜きであれば実施可能であるが、乾式の場合、コアビットの交換時に同じ箇所での芯出し調整が困難となる可能性がある。
- ② コアの回収方法。
- ③ 50φ600mmのコア抜きを実施した際にコアが破損する可能性が高い。  
⇒見査した結果をふまえて設計から製作（見査試験含む）までの期間が必要。

## 【廃炉作業進捗への影響】

- ① 8月頃から実施を計画しているオペフロ除染作業中は、並行して対応可能。
- ② 2022年2月頃から計画している遮蔽設置作業中は、穿孔するエリアの遮蔽ピースを開放することで対応可能。